

あらかわ 青少年委員だより

第117号

平成23年9月10日
荒川区青少年委員連絡会
荒川区教育委員会事務局
社会教育課
登録(23)0031号

CHANGE & CHALLENGE

～変革と挑戦～

荒川区青少年委員連絡会ホームページ

<http://www.arakawa-seishonen.jp/>



「宿泊研修会」 6月25日(土)～26日(日) 荒川区立清里高原ロッジ・少年自然の家にて

任期2年のうち半分の1年が過ぎ、例年の事業をひととおり経験した今年度のスローガンを「CHANGE&CHALLENGE」(変革と挑戦)とさせていただきます。

その中には1年間の経験、反省、青少年委員一人ひとりの想いを踏まえたいうでの矛盾点を正すこと、10月に荒川区で開催される「城北ブロック研修会」(荒川、文京、台東、北区の青少年委員が一堂に会し行う研修会)のホスト区として企画運営を務めること、そして残念ながら諸事情で開催できなくなった「一輪車大会」に代わる新たな事業への挑戦などの想いが込められています。

損得という次元を超えて、人としての高く熱い志こそが、古い常識を変え、新しいものを創り出すエネルギーを生むと心から信じております。同じ志を持つ行政、地域の皆さんと三位一体になることで、本当の意味での意義のある青少年健全育成の活動が創り出せると思っています。

どうぞ今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



荒川区青少年委員連絡会
会長 中條 勉

平成23年度 活動トピックス

チャレンジ共和国

少年団体育成部長 古畑 知保

今年も恒例の「チャレンジ共和国」が、平成23年5月8日(日)、15日(日)、22日(日)、6月



今年はチャレンジ・ザ・ゲームから始まり、クッキング、蒸しパン作り、自分だけのパンダナ作り(藍染め)、科学実験と、特にバラエティー豊かな内容で、毎回子どもたちの楽しそうな笑顔を見ることができ、良かったと思えます。

12日(日)、19日(日)の5回にわたり、生涯学習センターにおいて開催されました。今年も、参加申込者が200名を超える大盛況。青少年委員は、各班の班付きを担当しました。例年にないたくさんの参加で嬉しくもあり、大変でもありましたが、子どもたちの頑張りで、無事に終了することができました。



校庭利用実施委員会連絡会

校庭及び施設利用部長 金子 守利

5月26日(木)、区役所会議室において、校庭利用を実施している区内小学校の副校長先生並びにPTA役員、校庭利用実施委員が集まり、「校庭利用実施委員会連絡会」が開催されました。

この会は、子どもたちに安全な遊び場を提供し、心身の健全な育成を図るため、小学校毎に組織されている校庭利用実施委員会が集まり、意見交換や連絡等を行うものです。

まず、教育委員会から実施要項等の説明があり、その後に各地区に分かれて、各校の実施状況や課題について、活発な意見交換が行われました。

青少年委員は5名が出席し、各地区の話し合いに加わり、各校実施委員会の、「開催しても、子どもたちの利用度は今イチ」との声を受け、「青少年委員が輪番で巡回し、遊びのサポートを行うのはいかがでしょうか?」と提案したところ、多くの賛同を得られ、校庭及び施設利用部会として、今後の事業展開など、活動の方向性を見出す機会となりました。



「さくら教室」校外学習

青年団体育成部会 江口 陽子

5月29日(日)、「さくら教室」校外学習のお手伝いで、受講生の皆さんと埼玉県さきたま古墳公園とさいたま水族館へ行ってきました。

当日は台風2号接近で土砂降りの1日でしたが、古墳公園での勾玉づくり体験や、水族館での淡水魚見学、買い物などを楽しみました。

勾玉づくりでは、まず目の粗いサンドペーパーでろう石を削り、さらに細かい目のサンドペーパーで形を整えて磨き上げていく作業に、みんな熱心に取り組んでいました。それぞれの興味・関心に応じて完成された勾玉は、どれもみなすてきな出来栄でした。帰りのサービスイリアでは、一緒にお土産選びを楽しみました。

さくら教室の行事で受講生の方々をサポートし交流する中で、受講生が笑顔で帰宅していく姿を見ると、いつも「参加してよかった」と思います。

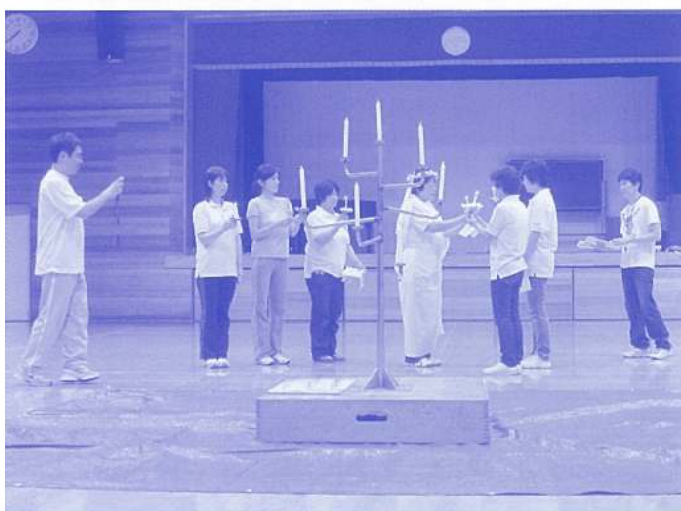


宿泊研修会

調査研修部会 神保 秀久

6月25日(土)～26日(日)、区立清里高原ロッジ・少年自然の家にて「宿泊研修会」を行いました。

1日目、バスレクに始まった研修。昼間は、よく知られた歌を利用したアイスブレーク研修や、いつもとは趣を変えて自分たちでの問題づくりに取り組んだ追跡ハイキングを行いました。夜のキャンドルファイヤー研修では一連の火の儀式を学び、各班の趣向を凝らしたスタン



ツを楽しみました。2日目は中條会長による食育研修、そして帰りのバスでもプチ研修を行うなど、盛りだくさんな内容ではありましたが、それぞれの研修に時間をかけ、じっくりと取り組むことができました。

こうした研修では、自分たちが経験して見るだけではなく、企画運営者としての視点からのノウハウの習得やスキルアップなど、私たちは日々研鑽を積んでいます。「子どもたちのために何か!」と思われれば、私たち青少年委員にどんな声をかけて下さい。みんなの宝モノ(子どもたち)を、一緒に育てていきましょう。



第9回 日暮里わくわくランド

日暮里副ブロック長 鹿熊 正剛

7月10日(日)、第三日暮里小学校で、「日暮里わくわくランド」を開催しました。

今回は「ちびりンピック」と題して、紙皿や紙コップ、新聞などを使って、円盤・やり・砲丸を親子で作り、それを使用して競技を行いました。

猛暑の中でしたが、参加者のほほえましい姿をたくさん見ることができました。良い企画・進行ができたのではないかと思います。



す。

第三日暮里小学校関係者、ボランティアとして参加してくれた諏訪台中学校の生徒、他ブロックから応援に来て下さった方々に感謝いたします。

第3回 親子でたいけんくんフェスタ

ユニバーサルもサバイバルも 体験しちゃおう！

町屋ブロック長 松尾 美智代

7月17日(日)、第四峡田小学校で「親子でたいけんくんフェスタ」を開催しました。

参加した140名弱の親子は、夏の暑い日差しの中、ユニバーサル体験とサバイバル体験をしました。ユニバーサル体験を通して、子どもたちから「目の不自由な人の気持ちがあった」、また、サバイバル体験を通じて、大人たち



からは、大人たちからも子どもたちからも「ご飯炊きが楽しかった」と感想が寄せられました。「親子で体験し、発見し、友だちを作る」楽しいイベントでした。

編集後記

前号発行直後に起こった未曾有の大震災。なかなか先が見えない中、こうして子どもたちとの活動をご報告できることは、私たちにとつて無上の喜びです。「あらかわ青少年委員だより」第117号、じっくりとご覧いただければ幸いです。



親子でのリレー競技、それぞれで頑張る姿を見ることができました。胸を張り、目を輝かせた子どもたち。来年もまた、心と体を大きくして参加してもらいたいと思います。

7月24日(日)、「鉄人レース・イン・汐入」が、汐入東小学校・第三中学校・都立汐入公園を会場に開催されました。



第11回 鉄人レース・イン・汐入

南千住ブロック長 真塩 勝

梅雨明け後の晴天の下、参加者は350人を超え、区長をはじめ、たくさんの方々の来賓の方々や150人のスタッフに支えられ、熱のこもった水泳、全力を出し切ったランニング、